

## 第 67 回歴史探訪の会『日本のはじまり、田原本町の史跡巡り』実施報告書

\*オープン参加としました。

実施日：平成31年3月20日(水曜日)

案内人 田原誠也

今回は奈良県田原本町の弥生時代の遺跡、唐古・鍵遺跡史跡公園、此处で発掘・発見された弥生時代の考古資料を中心に展示している「唐古・鍵考古学ミュージアム」で学芸員さんの説明をお聞きし勉強した上で、昨年リニューアルオープンした、唐古・鍵遺跡史跡公園と遺構展示館を巡りました。他にも田原本町の史跡、池神社・千万院を巡り、初瀬川沿いの「眺めの丘展望台」からは広大な大和平野も眺められました。解散後は、道の駅「レスティ唐古・鍵」でお茶やショッピングを楽しんだ後、石見駅へご案内致しました。

日時：平成31年3月20日(水曜) 午前10時 近鉄 田原本駅西広場に集合

コース：田原本駅西広場～浄照寺・本誓寺～田原本聖救主教会～平野氏陣屋跡～寺川～唐古・鍵考古学ミュージアム～池神社・千万院～眺めの丘・展望台～唐古・鍵遺跡史跡公園・遺構展示館(解散)～おまけ 道の駅(レスティ唐古・鍵)お茶やショッピングを楽しんだ後～石見駅へ

案内人は、田原本町観光ボランティアガイドの会の2名により、2班に別れて石見駅まで案内頂きました。

丁寧な解りやすく案内して下さいました田原本町観光ボランティアガイドの会のお二人、本当に有難う御座いました。

※近鉄田原本駅西広場に集合・オープン参加とした為、参加者30名超えが予測されたので2班編成にし20名集まった時点で急遽1班をスタートし、集合時間定刻の10時に2班を残り16名でスタートしました。

### ☆浄照寺(じょうしょうじ)

浄照寺は、奈良県磯城郡田原本町にある浄土真宗本願寺派の寺院。山号は松慶山。本尊は阿弥陀如来。

田原本御坊とも称される。天正11年4月(1583年)、織田信長の後継者の地位を争って、羽柴秀吉と柴田勝家が賤ヶ岳の戦いを起こした。この戦いで秀吉子飼いの7人の武将が活躍し、「賤ヶ岳の七本槍」と呼ばれる勇名を馳せたが、その一人平野長泰は軍功により、田原本他6か村を与えられ5千石の領主となる。しかし、長泰は生涯、田原本の地に居住することはなかった。正保4年(1647年)、長泰より田原本地領(寺内町)の経営を任されていた真宗寺院の真宗大谷派教行寺は、2代目領主長勝との間に支配権のことで対立し、広陵町箸尾へ立ち退かせられる。慶安元年(1648年)、領主長勝は田原本に陣屋を築造する。慶安4年(1651年)、長勝は教行寺の跡地を二分し、北側に平野家の菩提寺である浄土宗本誓寺を招請建立し、南側に浄土真宗の寺院「円城寺」(浄照寺の前身)を建立した。領主は円城寺と地域末寺8か寺を加えて浄土真宗本願寺第13世門主良如上人に寄進した。住職は本願寺門主が務め、御門跡兼帯所(御坊・別院)として、筋壁(表塀の五本の筋)が使用される。



※本誓寺(ほんせいじ)・・・田原本町 HP より

本誓寺は、浄土宗の寺。開基は、鎌倉時代の傳承もあるが不明。江戸時代の田原本領主であった平野氏の菩提寺。田原本二代領主平野長勝は、正保四年(1647)に浄土真宗教行寺を著尾に転座させ、その跡地に円城寺(現在の浄照寺)と本誓寺を建立した。本堂は度々の火災を受け、現在は昭和58年に再建された鉄筋コンクリート建物である。本尊は、阿彌陀如来立像で鎌倉時代後期の作。他に、元は楽田寺にあったとされる平安時代中期の十一面観音立像が安置されている。

☆田原本聖救主教会・・・田原本町 HP より

日本聖公会の田原本布教の歴史は、明治16年(1883)の説教会に始まり、明治28年(1895)には最初の会堂を建築し、伝道を本格化した。現会堂は、昭和8年(1933)に建てられ、木造平屋、切妻造り。屋根は棧瓦葺(さんかわらぶき)、鬼瓦の紋には十字架がついている。玄関妻側の窓も色ガラスがはめ込まれ、棧は十字架をかたどっており、昭和初期当時の面影を留めている。NHK連続テレビ小説「芋たこなんきん」、「マッサン」のロケ地としても使用された。



☆平野氏陣屋跡

田原本は、賤ヶ岳七本槍の一人に数えられる平野長泰が、文禄4年に豊臣秀吉から5,000石を与えられたところ。寛永12年に2代長勝がこの地に陣屋を構え、以後旗本交代寄合として8代続いた。明治元年に9代長裕は、5,000石を加増され大名に列した。



☆寺川・・・今里浜

今里では「浜」と呼ばれているが、今里橋 付近の寺川が改修され昔の面影は何も残っていない。村伝来の古地図を見る限りでは昔の繁栄振りが伺えるが今は掲示板だけが立っているだけ。田原本北部、今里領と石見領と入り組んだ寺川の東岸に石見領唐の口に江戸期今里村庄兵衛が経営する舟問屋があった。今里浜は立地条件の良いことからこれらの物資の荷上場として舟問屋が建ち並び問屋町田原本の外港として栄えた。舟運は水量の多い春と秋に利用され春は上り船が多く塩、肥料の干鰯や油粕が運ばれ、秋は下り船が主で米、雑穀、綿花等が運ばれた。



### ☆唐古・鍵考古学ミュージアム

唐古・鍵遺跡(国史跡)は、日本を代表する弥生時代の遺跡として知られ、発見から 100 年以上にわたって調査が続けられてきました。唐古・鍵考古学ミュージアムは、これまでに出土した膨大な資料の一部を展示しており、2018 年 6 月にリニューアルオープンしました。

此のオブジェは何？ただの雨だれの水受け・・・





さん、真剣に学芸員さんの説明を聞いています。



皆



皆さん、真剣に学芸員さんの説明を聞いています。



皆さん、真剣に学芸員さんの説明を聞いています。



## ☆池神社&千万院

### 池神社(池坐朝霧黄幡比売神社)

池神社は、初瀬川沿いに鎮座する。祭神は天万栲幡千千比売命・菅原道真で、明治初年ごろまでは天満宮と称されていた。現在は延喜式内大社「池坐朝霧黄幡比売神社」に比定されている。中世の天満宮は、在地豪族長谷川党の鎮守であった。近世以降も 法貴寺の実相院が社僧として社務全般を支配した。この関係は神仏分離により法貴寺から池神社が切り離されるまで続いた。

### 池神社(池坐朝霧黄幡比売神社)



### 千万院



池神社の前でボランティアガイドさんの説明を聞く皆さん。



## ☆千万院

法貴寺は、「法起寺」ともいい、聖徳太子が創建し秦河勝に賜ったという。千万院はこの法貴寺の塔頭の子院だった。法貴寺の本坊を実相院といい、中世には法貴寺天満宮(池坐朝霧黄幡比売神社)の別当職を担うなど、在地豪族長谷川党とのつよい結びつきで大きな勢力を誇った。しかし、江戸時代半ばには実相院と千万院の2坊のみとなり、神仏分離で実相院にかわって法貴寺薬師堂を受け継いだのは千万院だけとなり薬師堂を残すのみ。

☆眺めの丘で昼食・集合写真撮影・午後のスタート  
皆さんほっと一息！楽しい食事タイムです。。





午後のスタート前に集合写真を撮り、オープン参加者(14名)への入会のご案内・・・



☆唐古・鍵遺跡史跡公園・遺構展示館へ向かう



☆唐古・鍵遺跡史跡公園・遺構展示館

およそ 2,000 年前に栄えた、弥生時代の代表的な集落です。奈良盆地のほぼ中央、奈良県磯城郡田原本町大字唐古および大字鍵に位置します。遺跡面積の約 42 ヘクタールは近畿地方最大です。直径約 400m の範囲が居住区で、その周りには幾重にも「環濠」が巡っていました。遺跡は弥生時代前期(約 2,300 年前)に成立し、古墳時代前期(1,700 年前)までの約 600 年間続きました。昭和 11 年の第 1 次調査では多量の土器・石器・木器が出土し、その成果は弥生時代研究の基礎となりました。昭和 52 年の第 3 次調査以来継続的な調査が行われ、多数の絵画土器や青銅器鑄造施設の発見など重要な成果が相次ぎました。その重要性から、1999 年 1 月 27 日、国の史跡に指定されました。

唐古・鍵遺跡(国史跡)は、日本を代表する弥生時代の遺跡として知られ、発見から 100 年以上にわたって調査が続けられてきました。特に末永雅雄氏らによる、唐古池の発掘調査(第 1 次調査)は、弥生集落の様相が初めて明らかとなり、その後の弥生時代研究の確固たる基礎を築きました。その後も、奈良県立橿原考古学研究所・田原本町教育委員会によって調査が続けられ、日本最大級の環濠集落であることが明らかとなりました。また楼閣を描いた絵画土器や、勾玉を入れた褐鉄鉢容器、大型建物跡など重要な発見も多く、今なお唐古・鍵遺跡は、弥生文化を考える上で重要な位置を占めています。

ボランティアガイドさんの説明を真剣に聞いている皆さん。





ボランティアガイドさんの説明を真剣に聞いている皆さん。



☆遺構展示館



☆眺めの丘で集合写真 2枚



☆おまけ・・・道の駅「レスティ唐古・鍵」で休憩、お茶や買い物を楽しみました。

平成 30 年 4 月 20 日(金)にオープンした田原本町道の駅「レスティ唐古・鍵」は、さまざまなイベントの開催とともに、田原本町内の新鮮な野菜、果物、花をはじめ地元や県下の特産品を多数販売します。また、1 階のベーカリーでは「黄金の生食パン極」を製造直売するとともに、各種ジェラートを販売し、2 階のカフェではバラエティー豊かな 12 種類の「オリジナルドッグサンド」をメインに、ドリンクメニューや軽食メニューをご用意しています。

「黄金の生食パン 極」:高級カナダ産小麦粉を 100%使用し、バター、生クリーム、はちみつを加えて施設内で焼き上げた高級食パンです。しっとりとした食感と優しい甘さが特徴、そのまま生でお召上がりいただくのがおすすめです。「バンビーナジェラート」:平成 30 年 9 月 23 日、24 日に道の駅丹後王国「食のみやこ」で開催された『道一グランプリ 2018』のスイーツ部門において、近畿大学と松井農園の共同開発したメロン「バンビーナ」を使用した「バンビーナジェラート」が見事グランプリを獲得いたしました。各々1階 Kagi ベーカリーにて販売しておりました。

## ☆石見駅



お疲れ様でした。。。。